

科目名	原価計算			
授業形態	講義	学年	2	
開講時期	2021年度 前期	単位数	2	
担当教員	大和田 久男			
内容および計画	本講義では、1年次の「工業簿記」の学習内容を踏まえて、製造業で適用される工業簿記について、大量見込生産を行う製造業で用いられる総合原価計算、原価管理を主眼とする標準原価計算、短期利益計画において利用される直接原価計算を中心に学習する。			
1	ガイダンス／個別原価計算（勘定連絡）			
2	本社・工場会計			
3	総合原価計算①（単純総合原価計算①概要）			
4	総合原価計算②（単純総合原価計算②月末仕掛品の評価）			
5	総合原価計算③（単純総合原価計算③仕損・減損等の処理）			
6	総合原価計算④（工程別総合原価計算）			
7	総合原価計算⑤（組別総合原価計算）			
8	総合原価計算⑥（等級別総合原価計算）			
9	標準原価計算①（原価標準の設定・標準原価の計算）			
10	標準原価計算②（原価差異の把握と分析）			
11	標準原価計算③（勘定記入法）			
12	直接原価計算①（全部原価計算と直接原価計算）			
13	直接原価計算②（全部原価計算との差異・固定費調整）			
14	直接原価計算③（CVP分析・短期利益計画）			
15	総まとめ・総合問題			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	『工業簿記・原価計算の基礎－理論と計算－〔第4版〕』	上埜進	税務経理協会	9784419064372 2017
教科書は、1年次の「工業簿記」で使用したものである。				
参考書	必要な場合は授業でとりあげる。			
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	定期試験			50
	課題			35
	出席状況			15
学習到達目標	日本商工会議所簿記検定試験2級レベルの会計処理能力を身につける。また、製造活動に関する会計情報を活用できるようにする。			
先修条件	「工業簿記」が履修済みであること。			

実務経験	
その他	電卓を携帯すること（携帯電話を除く）。